

越谷地名大全（明治二十二年四月一日まで）

秦野 秀明

地誌研究倶楽部「講演会」演者 秦野 秀明

令和元年（二〇一九）七月二十六日（金）

「ネーミング バラエティ 越谷市の地名っ！」

配布資料に加筆。

出典

- ① 『新編武蔵風土原稿』(1) は、『風』と略して記載。
- ② 『武蔵国郡村誌』(2) は、『郡』と略して記載。
- ③ 『正保（武蔵）国絵図』(3) は、『図』と略して記載。
- ④ 『正保（武蔵）田園簿』(4) は、『簿』と略して記載。
- ⑤ 『寛文印知集』(5) は、『印』と略して記載。
- ⑥ 『寛政重修諸家譜』(6) は、『重』と略して記載。
- ⑦ 『越ヶ谷瓜の蔓』(7) は、『瓜』と略して記載。
- ⑧ 『大沢猫の爪』(8) は、『猫』と略して記載。
- ⑨ 『大沢町古馬宮』(9) は、『馬』と略して記載。

A 及び①～⑥の「項目名」と「引用例」

A 「明治二十二年四月一日「市制町村制」による

町、村名」(10)

- ① 「近世の宿、町、村、新田名」※①『風』より引用。
- ② 「近世の郡名・領名」※①『風』より引用。
- ③ 「近世の管轄の沿革」※①『風』より引用。
- ④ 「検地の年度」※①『風』より引用。
- ⑤ 「近世の小名」※①『風』より引用。
- ⑥ 「近代の字地」※②『郡』より引用。

A 越ヶ谷町（越ヶ谷・大沢町組合）

① 越ヶ谷（こしがや）宿

① b 名称の変遷 越ヶ谷町↓越ヶ谷宿『風』(11) ↓越ヶ谷町

② 埼玉郡 越ヶ谷領

③ 御料所

④ 元和五年(1619)・寛永六年(1629)・寛文二年(1662)

(12)

元禄八年(1695)・享保十七年(1732)・宝暦十一年(1761)

⑤ 本町・中町・新町

⑥ 下大作耕地 柳田耕地 南町裏耕地 井戸田耕地

上大作耕地 四丁野耕地 神明耕地 谷古方耕地

西町裏耕地 町並耕地 東町裏耕地 柳原耕地

壹番耕地 二番耕地 三番耕地 四番耕地 花田耕地

A 大沢町（越ヶ谷・大沢町組合）

① 大沢（おおさわ）町

① b 名称の変遷

大沢村（承応二年（1653）『猫』、『馬』、（13）↓

大沢町（明暦二年（1656）『猫』、『馬』、（13）

② 埼玉郡 越ヶ谷領 ※ 新方領の誤り『郡』、（14）

③ 記載なし

④ 元和五年（1619）・寛永六年（1629）『猫』

元禄八年（1695）『猫』・寛延三年（1750）・安永三年（1774）

⑤ 上宿・中宿・下宿・高畑・鷺後  
いひごめん みやうしろ さきうしろ わしじろ さいかちど

⑥ 飯後免 宮後 内野 鷺後 鷺路 槐戸 新田  
いひごめん みやうしろ さきうしろ わしじろ さいかちど

古川 外河原 横し込 町並 堤外 皿沼 辻  
ふるかわ ぐわがはら よここみ ちやなぎ つつみせと

A 桜井村

上間久里 下間久里 大里 大泊 平方の五ヶ村

① 上間久里（かみまくり）村

② 埼玉郡 新方領

③ 御料所

④ 元禄八年（1695）

⑤ 八間茶屋 どひ堀 さかい川 相ノ橋

⑥ 堂前 築堤 源右衛門新田 八反田 北浦  
かいてうはて ていがいふるかわ たいのしま

海道上手 堤外古川 鯛之島

① 下間久里（しもまくり）村

② 埼玉郡 新方領

御料所

④ 元禄八年（1695）

⑤ 記載なし

⑥ 前田 仲田 深田 新田 源前 四斗巻  
とぶ ていがい たいのしま しんた げんまへ しとまき

土浮 堤外 鯛の島

① 大泊（おおどまり）村

② 埼玉郡 新方領

御料所 ↓ 岩槻城主の所領 ↓ 御料所

④ 元禄八年（1695）

⑤ 上組 下組

⑥ 北 根田 塚田 広田 堰場 雉子田  
ねた ねた せきば きじた

① 平方（ひらかた）村

② 埼玉郡 新方領

③ 御料所

④ 元禄八年（1695）

⑤ 横手 南 東 沖ノ前 砂間 戸崎 山谷

⑥ 東前 会あひの久保くぼ 戸崎前とさきまへ 川久保 山谷前さんやまへ

立野たての 東田 南田 やたれ 南代みなみだい 沼田

横手前 会あひの川かわ 谷原やはら 大枝おおえだ 大畑おおはた

① 大里（おおさと）村

② 埼玉郡 新方領

③ 御料所

④ 元禄八年（1695）

⑤ 記載なし

⑥ 堀西 上かみ 新田しんた 仲田 下しも 堤外ていがい 沼

A 新方村

船渡 大松 大杉 弥十郎 北川崎 向畑 大吉の七ヶ村

① 船渡（ふなと）村

② 埼玉郡 新方領

③ 御料所

④ 元禄八年（1695）

⑤ 福島新田（16）

上手組かみて 下手組しもて 大島組おおしま 新田組しんでん

⑥ 稻荷前 大島 堀向ほりむかふ 福嶋 嶋添しまぞえ 仕込しこみ 杉戸

大鳥前 屋敷前 上川原 下川原

① 大松（おおまつ）村

② 埼玉郡 新方領

③ 御料所 ↓ 大岡出雲守領（宝暦年中）『風』（大岡主膳正領）

④ 元禄八年（1695）

⑤ 記載なし

⑥ 川端 前耕地 深石ふかいし 小谷島こやしま 堀向ほりむかふ

① 大杉（おおすぎ）村

② 埼玉郡 新方領

③ 御料所

④ 元禄八年（1695）

⑤ 深石耕地ふかいし 堀向ほりむかう

⑥ 勢至前せいしまへ 堰戸せきと 深石ふかいし 渋田しぶた 堀向ほりむかふ 大場落おおばおとし

① 弥十郎（やじゅうろう）村

① b 名称の変遷 弥十新田『図』、『簿』 ↓ 弥十郎村

※（沼谷新田『馬』）

② 埼玉郡 新方領

③ **御料所**

④ 元禄八年（1695）

⑤ 記載なし

⑥ 大林 沼 大杉 垵前いりまへ

① 北川崎（きたかわさき）村

① b 名称の変遷 川崎村 ↓ 北川崎村

② 埼玉郡 新方領

③ **御料所**

④ 元禄八年（1695）

⑤ 記載なし

⑥ 宮脇 下町しもまち 太子面たいしめん 沼田 井堀向みほりむかふ

① 向畑（むこうはたけ）村

② 埼玉郡 新方領

③ **御料所** ※（17）

④ 元禄八年（1695）・明和七年（1770）

⑤ 根堀

⑥ 本荒句もとあらく 堤外ていがい 立野たての 沼尻 新田

① 大吉（おおよし）村

② 埼玉郡 新方領

③ **御料所**

④ 元禄八年（1695）

⑤ 記載なし

⑥ 根通 垵前いりまへ 鷺代さぎしろ 鷺代わししろ

A **旧・増林村**

増林 増森 中島 東小林 花田の五ヶ村

① 増林（ましばやし）村

② 埼玉郡 新方領

③ **御料所**

④ 元禄八年（1695）・享保十六年（1731）・寛延三年（1750）

⑤ 延享三年（1746）・宝暦五年（1755）・明和七年（1770）

⑥ 記載なし

⑥ 定使野じょうつかいの 宮田みやた 中妻なかづま 市道いちみち 浮沼うきぬま 境地垣根添きょうちくねぞえ

根通ねとお 堰場せきば 堤外ていがい 下前しもまへ 萌坪もこつぽ 永沼ながぬま

西川さいがわ 荒川堤外あらかわていがい 城の上しろのうへ 土手岸どてぎし 川添かはぞひ

① 増森（ましもり）村

② 埼玉郡 新方領

御料所

④ 元禄八年（1695）

⑤ 西川組 新田組

⑥ 土手向どてむかふ 外河原うへがわら 内河原うちがわら 三町野さんちやうの 鳥垣とりがき

茨沼はらぬま 魚沼うまぬま 二枚口にまいぐち 屋敷通やしきとお 河原崎がわらさき 立野たての

深芦ふかよし 中窪なかつぼ 中台なかつたい 菱沼ひしがぬま 前畑まへはたけ 荒川堤外あらかわつみそと

① 中島（なかじま）村

② 埼玉郡 新方領

御料所

④ 元禄八年（1695）

⑤ 稻荷免耕地

⑥ 三式割さんしきわり 前通まへどほり 中うたりなかつたり 大割おおわり 籠場かごば

古利根川堤外（ルビ未記載） 川田かはた 八十面やそうめん 荒川

① 東小林（ひがしこばやし）村

① b 名称の変遷 小林村→東小林村

② 埼玉郡 新方領

御料所

④ 元禄八年（1695）・寛延三年（1750）

⑤ 根郷組 野中組 高曾根組

⑥ 北通きたどほり 内野うちの 大淵おほふち 西通 野中 下川 境堀さかひぼり

堤外ていがい 古川ふるかわ 堤外荒川ていがいあらかわ

① 花田（はなた）村

② 埼玉郡 越ヶ谷領

御料所

④ 元禄八年（1695）・寛延三年（1750）

⑤ 記載なし

⑥ 屋敷前やしきまへ 小合こあひ 葭場よしば 宮浦 寺浦 長堀 御手作おてさく

A 大袋村

恩間 大竹 大道 三野宮 袋山 大林 大房 恩間新田の八ヶ村

① 恩間（おんま）村

① b 名称の変遷 忍間村『風』↓恩間村

② 埼玉郡 岩槻領

③ **御料所**↓岩槻城附の領(寛永年中)『風』↓

阿部伊予守領『印』↓大岡主膳正領

④ 寛永七年(1630)・慶安二年(1649)

⑤ 記載なし

⑥ 恩間なかつみ 中堤あらく 荒句 天神下 中道 外和戸そとわと 追堀をつほり

間久里境まくりさかひ 下新田 宮田 須崎すさき 上新田  
(18)

① 大竹(おおたけ)村

② 埼玉郡 岩槻領

③ 記載なし↓岩槻城附の領(寛永年中)『風』↓

阿部伊予守領『印』↓大岡主膳正領及び**御料所**

④ 慶長十七年(1612)・寛永七年(1630)・寛延三年(1750)

⑤ 記載なし

⑥ 川久保 二階 新田 東畑ひがしはた 長堀 中道 宮堤みやつつみ

野仲 宮田 仲久保 西浦 橋戸 仲田 砂田  
横堤よこつつみ 堀内 大荒田 堀外ほりそと

① 大道(おおみち)村

② 埼玉郡 岩槻領

③ 記載なし↓阿部対馬守領(寛永年中)『風』↓

阿部伊予守領『印』↓大岡主膳正領

④ 万治元年(1658)

⑤ 記載なし

⑥ 竹之花たけのはな 前野 砂原 船面ふなめん 房田 堀向ほりむかひ 四反歩したんぶ

建谷たてや 沢田わけた 中島

① 三野宮(さんのみや)村

① b 名称の変遷 三之宮村↓三野宮村

② 埼玉郡 岩槻領

③ 記載なし↓阿部対馬守領(寛永年中)『風』↓

阿部伊予守領『印』↓大岡主膳正領

④ 万治元年(1658)

⑤ 記載なし

⑥ 堤つつみ 中河原 上道 中道 下道 雷電 新田前

御手作 道上 上谷 中谷 下谷 向谷

① 袋山(ふくろやま)村

② 埼玉郡 越ヶ谷領

③ **御料所**

④ 天和元年 (1681) (12)

⑤ 元禄十年 (1697)・寛延三年 (1750)

⑥ 記載なし

⑦ 三田方 根通 古川 堤通 天沼 堤外

(18)

① 大林 (おおばやし) 村

② 埼玉郡 新方領

③ **御料所**

④ 元禄八年 (1695)・寛延三年 (1750)

⑤ 記載なし

⑥ 海道西 海道東

① 大房 (おおふさ) 村

② 埼玉郡 新方領

③ **御料所**

④ 元禄十年 (1697)

⑤ 記載なし

⑥ 大林下 沼向 沼田 街道内 下川戸

(19)

① 恩間新田 (おんましんでん)

※明治四年 (1871) に「恩間村」から分村『郡』

⑥ 宮前 蓮河原 治郎右衛門 寺前 下 中堀

**A 荻島村**

南荻島 野島 小曾川 砂原 北後谷 西新井 長島の七ヶ村

① 南荻島 (みなみおぎしま) 村

② b 名称の変遷 荻島村↓南荻島村

③ 埼玉郡 越ヶ谷領

④ **御料所**↓土屋但馬守領『印』↓

⑤ **御料所**及び旗本領 (3) 大河内・天野・矢頭

⑥ 寛永六年 (1629)・延宝元年 (1673)・寛延三年 (1750)

⑦ 堤根組、野会組、野中組、中組、下手組

⑧ 左敷田 堤根組 戸井 野中組 中組 下手組 沼迎

⑨ 出津 外野合 内野合 野合組

(20)

① 野島（のじま）村

② 埼玉郡 越ヶ谷領

③ （岩槻領）↓御料所↓土屋但馬守領『印』↓

④ 寛永六年（1629）

⑤ 記載なし

⑥ 上川端

広畑内 橋向 中屋

① 小曾川（おそがわ）村

② 埼玉郡 岩槻領

③ 御料所↓土屋但馬守領『印』↓

御料所及び旗本領（2）武蔵・高林↓

御料所及び旗本領（3）武蔵・高林・柴山

④ 寛永六年（1629）

⑤ 記載なし

⑥ 川端 居耕地 神の前 前原 鉤田

① 砂原（すなはら）村

② 埼玉郡 越ヶ谷領

③ 御料所↓土屋但馬守領『印』↓

堀田豊前守領『重』（21）

↓米倉丹後守領『重』（21）

④ 寛永六年（1629）・寛文十三年（1673）・延宝元年（1673）

⑤ 東組、前原組

⑥ 横根方 柳田 沼の方 沼 六反田 前原 東

① 北後谷（きたうしろや）村

① b 名称の変遷 後谷村↓北後谷村

② 埼玉郡 越ヶ谷領

③ 御料所↓土屋但馬守領『印』↓

堀田豊前守領『重』（21）

↓米倉丹後守領『重』（21）

④ 寛永六年（1629）・延宝元年（1673）

⑤ 葭谷組、内谷耕地

⑥ 後谷 内谷 外谷

① 西新井（にしあらい）村

② 埼玉郡 岩槻領

③ 御料所↓土屋相模守（×）『風』・但馬守（○）『重』領

↓小笠原佐渡守領↓御料所↓



御料所 十太岡出雲守領 (御料所及び大岡主膳正領)

④ 記載なし

⑤ 堀ノ内、立野、前谷、土合どあい、外谷そとや、西前にしまえ

⑥ 土合どあい 西前 上新田 外谷そとや 宮前

① 長島 (ながしま) 村

① b 名称の変遷 西新井新田↓長島村

② 埼玉郡 岩槻領

③ 御料所↓永井伊豆守領↓御料所

④ 元禄八年 (1695)

⑤ 寺浦、中通、水持上、水持下、道西

⑥ 上耕地かみ 下耕地しも

A 出羽村

七左衛門 大間野 越卷 谷中 神明下 四町野の六ヶ村

① 七左衛門 (しちざえもん) 村

① b 名称の変遷

新田槐戸村『図』、『簿』

↓七左衛門新田 (22) または七左新田 (23)

↓七左衛門村『元禄国絵図』、『元禄郷帳』

② 埼玉郡 越ヶ谷領

③ 御料所↓土屋但馬守領 (24) ↓

御料所 十旗本領 (5) 平岡・曾我・菅谷・長山・中條

④ 元禄八年 (1695)・享保十八年 (1733)・安永八年 (1779)

⑤ 上組 四ツ谷よ 前谷まえや 根郷ねごう 中組なかぐみ 下組しもぐみ

⑥ 細沼耕地 下屋敷前耕地 道下耕地 中谷耕地

屋敷裏耕地 屋舗内耕地 屋舗前耕地 寺裏耕地

柳堤耕地 四ツ谷内耕地 越巻境耕地 四ツ谷前耕地

山王腰耕地 堀向耕地 内沼耕地 前谷 新川向耕地

大沼耕地 前沼耕地

① 越巻 (こしまき) 村

① b 名称の変遷

新田槐戸村『図』、『簿』

↓七左衛門村枝郷越巻村↓越巻村

② 埼玉郡 越ヶ谷領

③ 御料所↓土屋但馬守領『印』↓永井伊賀守領↓御料所

④ 延宝六年 (1678) (12)

元禄八年 (1695)・宝暦九年 (1759)・明和八年 (1771)

⑤ 中新田 丸ノ内 雨足

⑥ 屋舗裏 屋舗前 雨足 川東 槐並木  
丸の内 川西

① 大間野（おおまの）村

① b 名称の変遷

新田槐戸村『図』、『簿』

↓七左衛門村枝郷大間野村↓大間野村

② 埼玉郡 越ヶ谷領

③ 御料所↓土屋但馬守領『風』↓御料所

④ 元禄十年（1697）・享保十八年（1733）

⑤ 記載なし

⑥ 川東 道下 三反割 町割

① 谷中（やなか）村

① b 名称の変遷

四町野新田谷中組（四町野村の内谷中村）↓谷中村

② 埼玉郡 岩槻領

③ 御料所↓小笠原佐渡守領（大岡主膳正領）

④ 元禄八年（1695）

⑤ 三津新田（25）

⑥ 中西 寅沖 大作

① 神明下（しんめいした）村

② 埼玉郡 越ヶ谷領

③ 御料所↓土屋領『風』（23）↓御料所↓

御料所及び旗本領（5）平岡・曾我・菅谷・長山・中條

④ 元禄十年（1697）

⑤ 在家、沖谷、松葉、前方、後方

⑥ 寅発 土浮 高田 仲田 下樋 上樋 花田

① 四町野（しちようの）村

② 埼玉郡 越ヶ谷領

③ 御料所↓永井伊賀守領↓御料所

④ 元禄八年（1695）

⑤ 押切組 御繩先組 野尻村（「野尻組」の誤り）

⑥ 寅 中西 長堀 根通 神明 花田

A 蒲生村

（瓦會根 登戸 蒲生の三村）

① 蒲生（がもう）村

② 埼玉郡 八条領

③ **御料所** ↓ **御料所** 及び松平伊豆守領 ↓

**御料所** 及び堀田備中守領 ↓ **御料所**

④ 寛永四年 (1627) ・元禄十年 (1697) ・宝暦十二年 (1762)

⑤ 下茶屋 しもちや 上茶屋 かみちや 奉行地 (26) 道沼 どうぬま 西 東

⑥ 前谷 東前谷 へらなし 東 打訳 うちわけ 会野谷 あひのや 村添 むらぞへ

天神 東高野 中道 訳田 五丁目 荒神 こうじん 山王

西浦 神明 堤外 つみそと 道沼 どうぬま (26)

① 登戸 (のぼりと) 村 (27)

② 埼玉郡 八条領

③ **御料所**

④ 元禄十年 (1697) ・享保十八年 (1733)

⑤ 記載なし

⑥ 西耕地 街道向 塚田 瀬戸谷 せとや 本村 ほんむら 前

東前 東向 新田

① 瓦會根 (かわらそね) 村

② 埼玉郡 八条領

③ **御料所**

④ 元禄十年 (1697) ・寛延二年 (1749)

⑤ 本村 後谷 野尻 木ノ下 柳田 大田切 おおたぎり 大田切 のりあが

⑥ 大境 海道東 田向 大田切 乘上り

嘉兵衛 ドブ 大新田 三枚田 又右衛門

木の下 柳田 後谷 川上 うしろや

**A**  
**大相模村**

西方 東方 見田方 千足 別府 四条 南百の七ヶ村

① 西方 (にししかた) 村 (28)

② 埼玉郡 八条領

③ **御料所** ↓ **御料所** 及び旗本領 (1) 万年 ↓

堀田筑前守及び旗本領 (1) 万年 ↓

**御料所** 及び旗本領 (1) 万年

④ 寛永四年 (1627) ・享保十六年 (1731) ・同十八年 (1733)

⑤ 寛延二年 (1749) ・明和七年 (1770)

⑥ 三谷組 さんや 藤塚組 ふじつか 田向組 たむかい 西方組 にししかた 松土手 まつどて

上手 うはて 下手 したて

① 東方 (ひがしかた) 村 (28)

② 埼玉郡 八条領

③ 小野久内↓設楽勘左衛門↓

阿部豊後守領（柿木領八ヶ村）『印』

④ 慶長十七年（1612）・寛永四年（1627）・明和三年（1766）

⑤ 山谷村（29）

⑥ 山谷 道免 宮田 流 西口 外野 茨田

① 見田方（みたかた）村

② 埼玉郡 八条領

③ （記載なし）↓阿部豊後守領（柿木領八ヶ村）『印』

④ 寛永四年（1627）

⑤ 記載なし

⑥ 内輪 下飯島 五斗蒔 中才 屋蔭 内広野

落井 外広野 四斗蒔 土腐 辻 飯島 外野

下河原 曾根

① 千疋（せんびき）村

① b 名称の変遷 千匹村↓千疋村

② 埼玉郡 八条領

③ （記載なし）↓阿部豊後守領（柿木領八ヶ村）『印』

④ 寛永四年（1627）

⑤ 記載なし

⑥ 苗間耕地 芦田耕地 四斗蒔耕地 九升田耕地

庄観耕地 二枚田耕地 浮沼耕地 北口耕地

南口耕地 堤外下出洲耕地 堤外上出洲耕地

中島耕地（30）

① 別府（べつぷ）村

② 埼玉郡 八条領

③ （記載なし）↓阿部豊後守領（柿木領八ヶ村）『印』

④ 寛永四年（1627）

⑤ 記載なし

⑥ 前原耕地 西耕地 東耕地 堤外耕地

① 四条（しじょう）村

② 埼玉郡 八条領

③ （記載なし）↓阿部豊後守領（柿木領八ヶ村）『印』

（31）

④ 寛永四年（1627）

⑤ 記載なし

⑥ 北谷耕地 深田耕地 待田耕地 六舛耕地

新田耕地 なんどかた 南百方耕地 古通耕地 こうつづ 根郷耕地  
長嶋耕地 ていぐわい 堤外耕地

① 南百（なんど）村

② 埼玉郡 八条領

③ （記載なし）↓阿部豊後守領（柿木領八ヶ村）『印』

④ 寛永四年（1627）

⑤ 記載なし

⑥ 西妻 にしつま 苗間戸 なへまど 下深田 上深田 曾根 沖

A 川柳村

柿ノ木 伊原 南青柳 麦塚の四ヶ村

① 伊原（いはら）村

② 埼玉郡 八条領

③ 御料所（32）↓阿部豊後守領※（柿木領旧八ヶ村）『印』

↓御料所

④ 寛永四年（1627）

⑤ 記載なし

⑥ 横道 中耕地 鎌田道 天神後 東裏 まへどほり 前通

大角屋敷 だいかく 西前谷 にしまへや 東前谷 ひがしまへや

① 麦塚（むぎづか）村

② 埼玉郡 八条領

③ 御料所↓阿部領（柿木領八ヶ村）『印』

④ 寛永四年（1627）・享保十八年（1733）・宝暦三年（1753）

⑤ 樟子山 笹塚

⑥ 川端 おおうわて 山城 さんやうしろ 新田前 蔵屋敷 笹塚 八幡後 ねこう 根郷

大上手 おおうわて 山谷後 さんやうしろ 東耕地 東戸部 とぶ 井堀向 みほりむかふ 道沼 どうぬま

注

（1）文政十三年（一八三〇）成立

（一九六三）『新編武蔵風土記稿』「第三期」第十卷、

雄山閣

（2）明治十五年（一八八二）成立

（一九五四）『武蔵国郡村誌』第十一卷、

埼玉県立図書館

（3）注（1）「正保年中改定図」

（4）慶安二〜三年（一六四九〜五〇）成立

※（林巖氏の見解）注（4）

（一九七七）『武蔵（正保）田園簿』、近藤出版社

(5) 『寛文印知集』『続々群書類従 第九 地理部』

続群書類従完成会

(6) (一九八三) 『寛政重修諸家譜 第二』

続群書類従完成会

(7) 文政五年(一八二二) までに成立『越ヶ谷瓜の蔓』

(一九七二) 『越谷市史 四 史料二』、越谷市役所

(8) 文政五年(一八二二) までに成立『大沢猫の爪』

(一九七二) 『越谷市史 四 史料二』、越谷市役所

(9) 天保十一年(一八四〇) 頃の成立『大沢町古馬笥』

(一九七二) 『越谷市史 四 史料二』、越谷市役所

(10) 渡辺 隆喜(一九七七) 『越谷市史 二 通史下』

越谷市役所、一七四〜一八一頁

(11) 「延享四年(一七四七) より宿と唱ふ」『風』

(12) 萩原 龍夫・竹内 誠・本間 清利(一九七五)

『越谷市史 一通史上』越谷市役所、四六六頁

(13) 「承応二年(一六五三) 八大沢村与有之、

明暦二年(一六五六) 八大沢町与有之

候得ハ承応三・明暦元ニケ年之間ニ駅場ニ成候歟」

『往還諸御用留』

(一九七二) 『越谷市史 四 史料二』越谷市役所、

二一七頁

(14) 「大沢町之義寛永巳六年(一六二九) 九月

御檢地帳面ニ武蔵国騎西郡新方領大沢村与有之候」

『往還諸御用留』

(一九七二) 『越谷市史 四 史料二』越谷市役所、

二一六頁

(15) 「茶畑」の地名は、「俗称」である。

(16) 「元禄改定の国図ここのには、此新田をのせ船渡村枝郷えんたごうとあ

り、されど今は本村の高たかに合あひ、全まき別村には非まずし

て、当村の小名こなとなれり」『風』

(17) 「向畑村は古いにしへ近村大吉・川崎・大杉・大松等の五ヶ

村の向畑にて、その村々持添もちぞえの地なりしを、いつの頃

にや一村に立しをもて、かく名付しと云されど正保の

頃の郷帳には見えぬ、元禄改正の国図くにずに其名初めて見

ゆれば、其一村立し年代推て知らる」『風』

「寛永六年(一六二九) 九月廿日 大松清浄院領檢地帳」

(一九七三) 『越谷市史 三 史料一』越谷市役所、

一八三〜一八五頁

に記載の村名(五ヶ村)は、

舟戸村・川崎村・大杉村・大松村・向島村である。

(18) 「隅の山 今云袋山・恩間村也」『瓜』

(一九七二)『越谷市史 四 史料二』越谷市役所、  
四五頁

秦野 秀明 (二〇一五) 「袋山 (隅ノ山)」の頂上」

<http://koshigayahistory.org/>  
150405fysm02\_hh.pdf

(19) 「棚裏」の地名は、「俗称」である。

(20) 「〆切」の地名は、「未調査」である。

(21) 元禄十四年(一七〇一)十二月「砂原村普請場割合願」

(「砂原村松沢家文書」市史編さん室蔵)

(一九七三)『越谷市史 三 史料一』越谷市、五一頁

弘化二年(一八四五)十二月「米倉氏系譜」

(一九七二)『神奈川県史 資料編五 近世』

神奈川県、九四二頁

(22) 「寛文七年(一六六七)十月 七左衛門新田年貢割付」

(一九七三)『越谷市史 三 史料一』越谷市役所、

一三七〜二四二頁

(23) 「天和三年(一六八三) 越谷神明縁起」

(加藤 幸一氏解説)

<http://koshigayahistory.org/>

160814\_k\_shinmei\_engi.pdf

(24) (一九七五)『土浦市史』、土浦市史編さん委員会編、  
土浦市史刊行会、附録

(25) 「此地元祿の国図に、谷中村枝郷と載て、別村の如く  
なり、されど其実は小名にて、古越ヶ谷宿に屬せし  
地なりしを、後当村につけり」『風』

(26) 「奉行地」、「道沼」に関しての「新解釈」がある。  
加藤 幸一(二〇一六)

「蒲生地区の「新編武蔵風土記稿」」

<http://koshigayahistory.org/>

160713\_gamoh\_smf.pdf

(27) 登戸(のぼりと)村『風』↓登戸(のぼりと)村

(28) 『元禄郷帳(武蔵国郷帳 下)』

国立公文書館デジタルアーカイブ

<https://www.digital.archives.go.jp/DAS/>

[pickup/view/detail/detailArchives/](https://www.digital.archives.go.jp/DAS/pickup/view/detail/detailArchives/)

0302000000/0000001866/00

『天保郷帳(武蔵国郷帳 下)』

国立公文書館デジタルアーカイブ

<https://www.digital.archives.go.jp/DAS/>

に記載される

「大相模西方村」、「大相模東方村」、「東方村」

の「3村」の「名称」や「大相模郷」との関係等は、

今後の研究課題となる。

(29) 「元禄国図げんろくには、ひがしかた東方村の内山谷村さんやと書し、別に載せ

たれど、今は全く小名こなにて、別に一区をなせしものにはあらず」『風』

秦野 秀明 (二〇一八) 「幻の村」山谷村の証明」

<http://koshigayahistory.org/>

181123\_26\_sb\_04\_.pdf

(30) 秦野 秀明 (二〇一四) 「旧千疋村の「中嶋」」

[http://koshigayahistory.org/150215b\\_hh.pdf](http://koshigayahistory.org/150215b_hh.pdf)

(31) 永禄十年 (一五六七) 七月十九日 太田氏資判物うじすけはんもつ

(一九七三) 『越谷市史 三 史料一』越谷市役所、

五二頁

天正十四年 (一五八六) 九月廿八日 北条氏房うじかき

(一九七三) 『越谷市史 三 史料一』越谷市役所、

五三頁

に記載の村名「四条之村」

(32) 寛文十年 (一六七〇)、半高が土井能登守の領分、

天和二年 (一六八二)、御料所に復した。

『越谷市史 一通史上』、越谷市役所、四六一頁

29) こしがやほしくさ (新種)

「前川文夫氏ガ昨年 (昭和 13 年) 9 月、越ヶ谷町附近ノ元荒川ノ砂洲上デ発見サレタ珍種デアル。[後略]

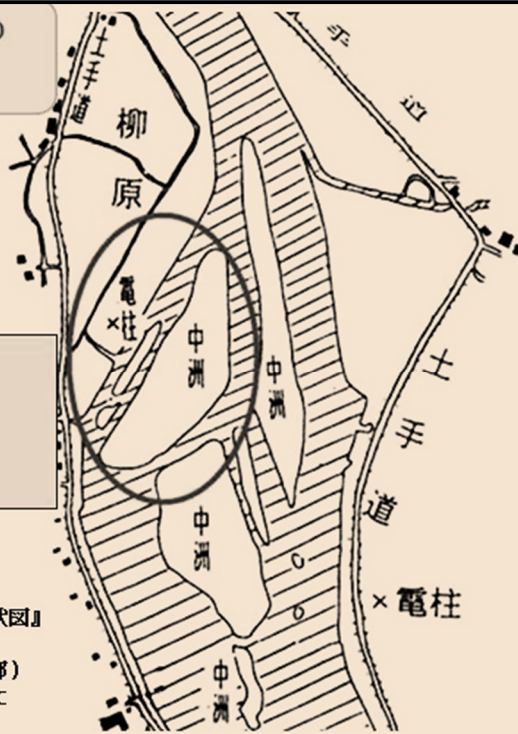
出典：昭和 14 年 (1939) 10 月発行

『植物研究雑誌』第十五卷 第十号 p.33 (年号を加筆)

大正8年(1919)の  
「瓦曾根溜井」

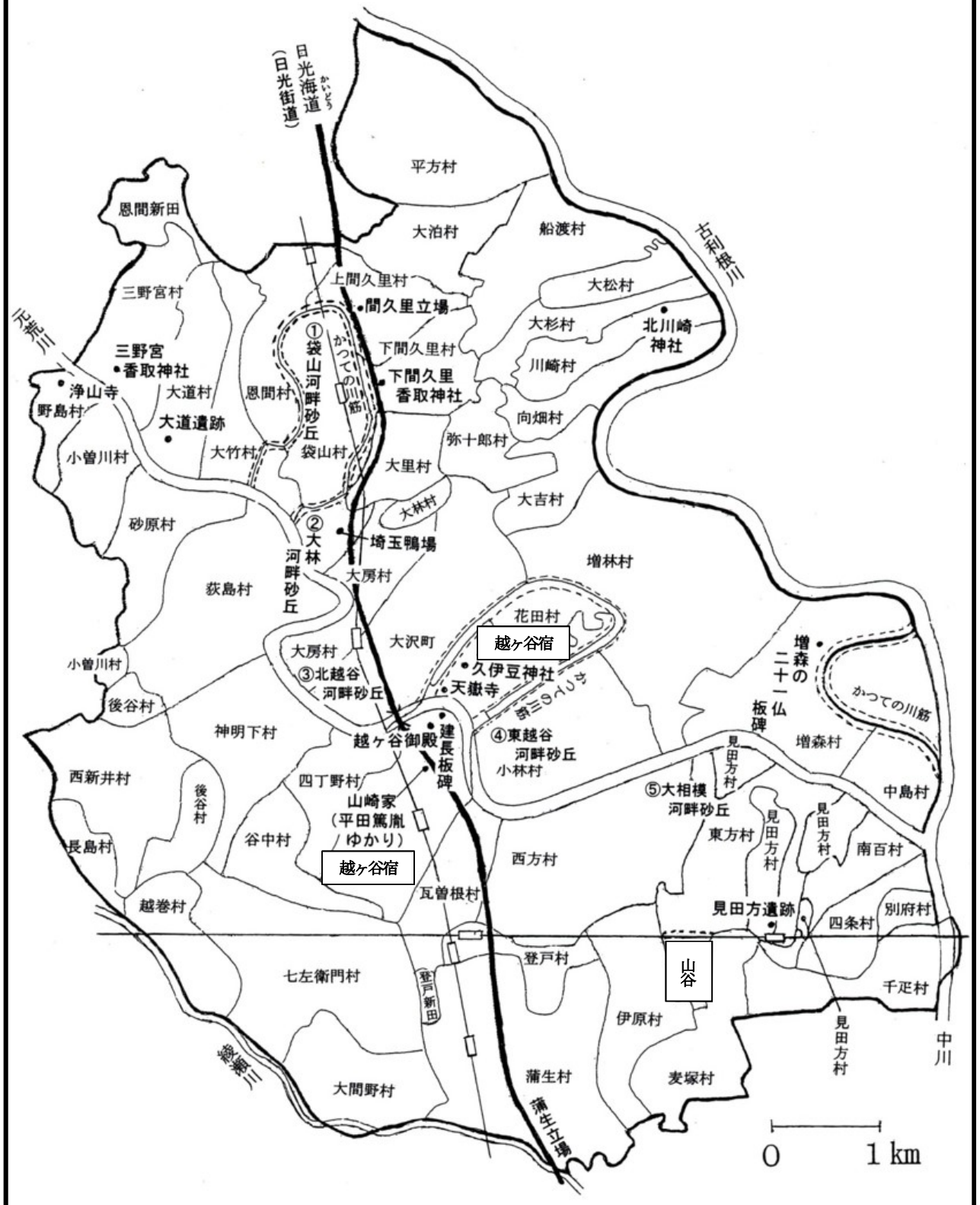
昭和13年(1938)9月→→  
「コシガヤホシクサ」  
発見の推定地  
(NPO法人  
越谷市郷土研究会の推定)

『埼玉縣北葛飾郡松伏溜井  
葛西用水路ヲ経テ  
同縣南埼玉郡瓦曾根溜井間現状図』  
(大正8年(1919)7月測量製図  
鑑定人 木邑 富蔵 坂本 茂一郎)  
のうち「第三号の地図」を元に  
加藤 幸一氏が作成





# 越谷市内に存在した江戸時代の「1宿1町49ヶ村」



※ 作成 加藤 幸一氏  
(筆者が部分加筆)